□議員名：中村博行

1　公共施設の老朽化とその対応について

論点	厚狭小学校は老朽化が著しく進んでいて、現状の維持補修では限界と思う。建て替えを含め、抜本的対応が必要だがどう考えているか。
回答	築５４年が経過しているものの耐震診断の結果からは問題はなく、令和３年３月に策定された山陽小野田市学校施設整備計画では、長寿命化改修が可能な校舎となった。しかし、厚狭高南校舎地に移転が公表されたことに伴い、来年度当初予算で関連経費を計上したい。

論点	厚陽地域交流センターの立地場所について、行政が財源も含め主体的に関与し主導することが求められているが、どう考えているか。
回答	厚陽地区全体の公共施設の再編については一定の方針をまとめるのに時間を要している。庁内で作業を進めていて、一定の方針をしっかりまとめ、その後、地域の皆様に合意いただけるよう努める。厚陽保育所についても同様に検討を進めていく。

2　「土地改良区の運営に係る事務費補助を求める請願書」採択後の市の対応について

論点	昨年１２月に事務費等の運営支援を求める請願を市議会に提出し、採択されたが、その後関係部署間でどのような協議がされたのか。
回答	土地改良区の皆さんの負担が増加していることはしっかり認識している。また、請願が採択されたことも重く受け止めている。今後、どのような支援ができるのか、最も効果的な支援は何なのか、側面的な支援も含め、今年度中には整理したいと考えている。